

2010年(平成22年)
6月5日 第145号
毎月3回 5・15・25日発行

高齢者住宅新聞

発行所 (株)高齢者住宅新聞社
本社 〒104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
TEL 03-3543-6852(編集部)
http://koureisha-jutaku.com
発行人 西岡一紀
年間購読料 18,000円(税込み)

第145号

〈第3種郵便物認可〉

サプリメント開発、認知症に効果

医療機関160超が採用

グロービア(東京都中央区)は、認知症を対象とするサプリメントを開発。2007年から販売を開始、現在全国160ほどの医療機関で採用されている。同製品の効果や実績をレポートする。



グロービア
村瀬仁章社長

製品名は「フェルガード」。主成分はポリフェノールの一種で米ぬかから抽出されるフェルラ

酸。認知症の中で最も多いアルツハイマー型は、βアミロイドが脳に蓄積され、凝集すると毒性に変わり発症すると言われているが、このフェルラ酸にβアミロイドの凝集を抑制する効果があると考えられている。

もうひとつの主成分が「デンアンゼリカ」には神経再生効果があり、神経細胞のネットワークを再構築する役目を果たす。認知症には多様な症状があるため、製品には「デンアンゼリカ」の配合量が多い興奮系と「ガ

ンアンゼリカ」の量を抑えた抑制系の2種を用意。興奮系薬剤の「ニューフェルガード」は穏やかなタイプの認知症に効果。無表情でうつ状態の利用者に適している。抑制系薬剤の「フェルガード100M」は興奮状態にあ

る利用者に効果を発揮する。これまでアルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型(ピット病)、軽度認知障害(MCI)などの様々な認知症で効果が確認されている。認知症の診療を専門として愛知県の名古屋フォレストクリニックでは、フェルガードの治験に協力。同院の河野和彦

院長が認知症患者に試したところ効果を得ることができたため、認知症全般に使用することになった。医師への説明や一般市民が参加するセミナーなどの場でも製品を紹介している。また河野院長自身が認知症薬物療法マニユアルとして作成している「コウノメソッド」でもフェルガードの使用法について触れている。現在診療所を中心に160の医療機関が採用。1週間に1件ほどのペースで採用する医療機関が増えている。販売数は月

間7000〜8000箱。診療所経由で患者に周知された影響でこの1年で販売数は約50%増加した。利用者数は5000〜6000人にのぼる。価格は「ニューフェルガード」が1万5000円。「100M」が6300円。いずれも1箱60包入り。朝夕に1包ずつの使用で1カ月の分量がある。



▲2種の製品を用意

「効果は認知症のどの段階でも得られるが、軽度のほうがより大きいことが分かっている。今後、新たな製品開発のため、新たな製品開発のための研究を進めていく」(村瀬社長)。

(村瀬社長)。